

# 広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘  
編集 川口町役場総務課  
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

やめよう やめさせよう

## 自動車の不正改造

自動車は、安全を確保し、公害を防止するための技術基準が定められており、これに適合した状態で使用することが不可欠です。

例えば、自動車のマフラーを取り外したり、窓ガラス(前面、運転者席側及び助手席側)に着色フィルムをはったり、過積載を目的としたダンブカ1の荷台増し枠などは、今日の車社会では許されないことです。

しかし残念ながらいまだに街中では、このような不正改造車が見られます。不正改造車は、道路交通に

危険を生じさせたり、騒音や排ガスなど公害の原因をまきちらしたりすることから、社会の迷惑となっています。運輸省では、こうした不正改造を防止するため、六月から七月までの間「不正改造車を排除する運動」を、全国的に展開します。

この機会に、ぜひ、自動車の正しい利用を考え、安全で快適な車社会を実現するよう努めましょう。なお、この運動期間中は、警察の協力を得て、不正改造車を対象とした街頭検査を行いますので、ご協力をお願いします。

## 警察官(大卒)募集

### ◆受験資格

昭和三十八年四月二日から昭和四十四年四月一日までに生れた男子で、大学を卒業した者。

◆受付期間  
五月十四日(月)から七月十六日(月)までの間  
◆採用予定人員  
三十名程度  
◆申込み先  
小千谷警察署又は近くの派出所、駐在所へ  
詳細は、小千谷警察署警務課 ☎八二一四一一一まで。

児童手当、父子手当は毎年二月、六月、十月の三回に分けて、それぞれの月の前月分までの四カ月分をまとめて支払います(年度途中の認定者はそれぞれの月数分)六月期支払分をあなたの指定金融機関口座に振り込みます。  
なお、個人の支払通知は、これをもってかえさせていただけます。

## 六月期支払日は六月八日です

児童手当・父子手当  
受給者の皆さんへ

## 水道法 暮らしを守って100周年 水道週間 6月1日～7日



蛇口をひねれば水がでる——昭和34年にわずか48.7%だった水道普及率も、いまでは94%を超え、水道は、わたしたちの生活になくてはならない“命の道”となりました。

明治23年(1890)に、水道についての最初の法律である「水道条例」が制定されてから、今年100周年にあたります。6月1日～7日までは「水道週間」です。この機会に水の大切さを見直し、感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。

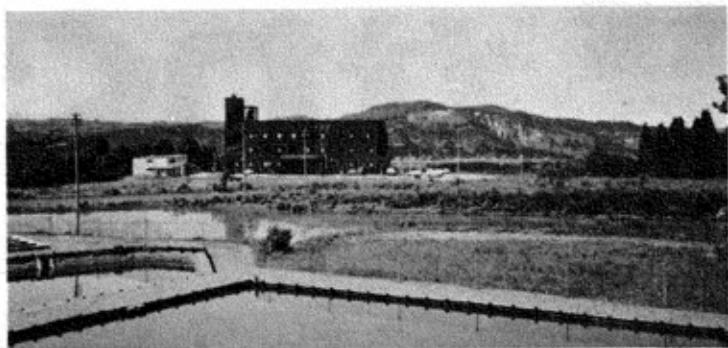


## 田植え

5月11日、川口中学校田の田植えが行われました。田植えに汗を流す三年女子生徒の皆さん。

おもな内容	ユートピア構想..... 2～3	県下では死亡事故が多発..... 8
	子どもたちが熱演..... 4	東京からの便り..... 9
	川口中が福祉研究普及指定校に..... 5	スポーツコーナー..... 12
	カメラスケッチ..... 6～7	お知らせコーナー..... 13～14

人口	6,436人	平成2年6月1日現在
男	3,134人	
女	3,302人	
世帯数	1,512戸	



「生涯学習のむら」建設予定地

### ユートピア構想

# 生涯学習のむら建設は今 民間活力を導入

## 新しいふるさとづくりを推進

### モデル地区として

#### 国が指定

町は今、ユートピア（理想郷）構想、即ち①野外学習のむら②生涯学習のむら③原始古代むら―づくりの三つの大型プロジェクトによる「滞在型家族旅行村」の建設を大きく進めています。

そこで今回は、その一つ、民間活力を導入して進められる「生涯学習のむら」づくりについて、レポートします。

### 人生八十年型社会を迎え

人間の平均的寿命は伸び、かつての人生六十年型社会から人生八十年型社会へと移り変わり、生涯を八十年間として

生涯設計を行っていかねばならない時代を迎えている。また、昔の高齢者に比して現代の高齢者は、健康的で、かつ、経済的にも、時間的にもゆとりのある生活が可能となり、例えば、六十歳で定年退職してから二十年間というかつては考えられなかったような長い時間が与えられていると言えます。

に対応して、スポーツ、趣味、教養学習等の生涯学習を軸とした、各人のライフスタイルの確立、コミュニティの形成等が強く求められており、これらに对应する社会資本の整備が重要な課題となりつつあります。

### 町の活性化

また、昔の高齢者に比して現代の高齢者は、健康的で、かつ、経済的にも、時間的にもゆとりのある生活が可能となり、例えば、六十歳で定年退職してから二十年間というかつては考えられなかったような長い時間が与えられていると言えます。

一方、高速道路や新幹線の整備などにより、国内の時間距離は大幅に短縮され、これらを利用して週末等の余暇時間を、都市の喧噪から抜けだして、別荘地で過ごすといったいわゆるマルチハビテーション等の新しいライフスタイルが芽生えつつあります。

すなわち、人生八十年時代の高齢化社会を迎えて、新しいライフスタイルに対応できる「定住の場の整備」と「生涯学習機会の確保」、そして、大都市圏での厳しい環境をのがれ地方でゆとりとやすらぎのある住いを確保し、老後を安定させ、新しいふるさとづくりを推進するもので、民間活力の導入によって個人住宅を建設し、都会の人達によって「一つのむら」をつくらうというものです。これにより、道路、下水道等の公共施設の整備促進や、民活導入による物資の供給、就労の場が図られるなど町活性化に大きく寄与するものと期待されています。

## 生涯学習センター一棟 百八十戸の個人住宅 レイアウトが完成

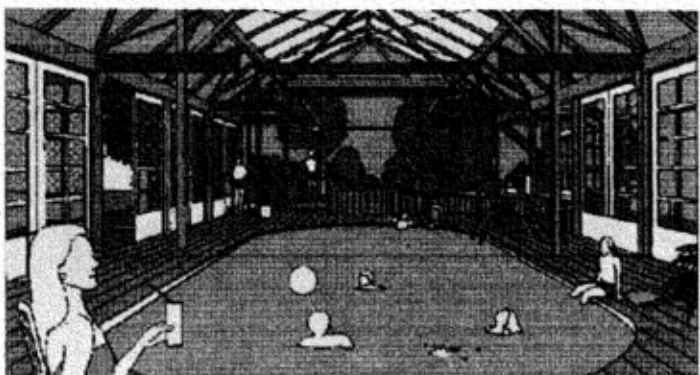
イメージ図



こうした中で、生涯学習のむら建設は今、民間事業者の「多摩中央ミサワホーム株式会社（本社東京・山口隆社長・資本金二億円）により計画され、中山高原の一角に「生涯学習センター」一棟と、百八十戸の個人住宅を建設するレイアウトが完成。今年度建設に着手される見通しとなっています。

町のリゾート構想の目玉の一つとして今から、その実現に大きな期待が寄せられています。

建設位置は、総合運動公園のサン・ローラ川口に隣接、敷地面積は約三・五ヘクタール。この中にAからFまでの六エリアを設定し、各エリアに住宅、コミュニティ施設などを建設、例えば、Aエリアではサンルーフコリダー（廊下）により結ばれ、オールシ



ーズン対応型、Bエリアでは、若いファミリーを対象としたミニウィレッジ型、Cエリアでは、コミュニティ施設―生涯学習のむらのテーマ館（ヘルスケアのためのサウナ、温水プール、トレーニングルーム等）によるエリア内の中心的施設などが計画され、また、Eエリアでは、シンボル公園などが企画され、ユニークなむらづくりによる定住の場と生涯学習の場が整備されます。総事業費は五十三億円。

これは、町の自然環境、歴史、整備された総合スポーツ・レクリエーション施設の総合運動公園をはじめ、オートキャンプ場、ファミリーゴルフ場等―の野外学習のむら、計画中の原始古代むらなど、町の特徴を生かした、ファミリーレクリエーション型のリゾートスタイルを目指します。



川口中学校が、社会福祉研究普及校として福祉法人新潟県社会福祉協議会（県社協）から指定をうけ、社会福祉活動に取り組むことになりました。

中学校では活動計画をまと

## 川口中が 福祉研究普及指定校に 本年から三年間

めて県社協と協議に入り、町社協とも協力して活動を進めることにしています。

**福祉行事への参加や実践活動などを  
目標に**

同校生徒会は、青少年赤十字（JRC）に前から加盟して活動の実績があり、また、町内清掃のクリーン作戦は環境美化模範活動で県知事の表彰をうけ、毎年生徒会の定例行事となっていますが、これからはさらに福祉関係にも広げて、社会奉仕活動を進めることになるわけです。

計画によれば目標を三点にしほり、実践活動では福祉施設での体験や交流、福祉行事への参加などが中心になるよう、新しい取り組みの成果が期待されます。

### 社会福祉研究普及事業計画

#### ❖目標

- ・中学生の公共心や社会連帯意識を高める。
- ・生徒会活動や授業で社会福祉について学習する。
- ・社会奉仕の自主的活動にむすびつく素地を作る。

#### ❖事業計画

- 〔広報、啓発活動として〕
- ・講演会、映画会、ポスター
  - ・学校新聞等を通じ地域、保護者へ啓発。
- 〔体験学習を目的とした実践活動として〕
- ・社会福祉施設等を訪問して演奏会等で交流。（六花園他）

- ・社会福祉施設に宿泊してボランティア体験、手伝い。  
（ワークキャンプ）六花園。
- ・養護学校との交流。（文通等）
- ・学校行事に高齢者等の招待及び参加。
- ・地域の環境美化。クリーン作戦。清掃。  
〔社会福祉関係行事への参加〕
- ・ボランティア講座。
- ・赤い羽根募金参加。書き損じハガキの収集協力。
- ・24時テレビ「愛は地球を救う。」協力。

### ❖人権相談所開設❖

心配ごとやお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。（無料・秘密厳守）

近隣のいやがらせ、親族間のもめごと、名誉、信用の侵害、騒音、悪臭などの生活公害、児童、生徒のいじめ等の人権問題

**相談担当者—地元の人権擁護委員**

とき 6月5日(火) 午前10時～午後3時

ところ 総合福祉センター

**新しい先生方が  
町内視察**

四月に転入された新任の先生方が、町内の施設などを視察する研修を行いました。

これは、川口町内のことを一日も早く理解して、地域に密着した学習を進めるために計画したもので、自校の学校区だけでなく町内全域を対象に、地形や道路、町有建物、野外施設、民間施設や工場などを視察して巡りました。



▲越後川口サービスエリア

五月十九日(出)、二十日(日)の両日にわたって、越後川口サービスエリアで開かれた、ハイウェイ・ナウ90に、町内の小学生が出演。郷土芸能を披露し、集った行楽客の目を惹きました。

このイベントは、日本道路公団が主催し、高速道路の利用者に感謝と対話のキャンペーンとして、各地のサービスエリアで開いているもので、越後川口サービスエリアでは四年振り二回目。

**拍手喝采**

この日、同エリアに設けら



▲「棒おどり」田麦山小6年生の皆さん



れた特設ステージに、県警音楽隊のハイウェイコンサートや、沿線各地から出場した郷土の踊り、太鼓などが披露される中、田麦山小六年生十六人による町の重要無形文化財「棒おどり」が、川口小四・五・六年生四十三人による「川口あおり太鼓」がステージいっぱい演じられた。

特に、棒おどりの独特の素朴さと、子供たちの生きのあった棒さばきに：また、パチさばきもあざやかに、躍動的、勇壯の太鼓の響きが轟き、鉢巻、はっぴ姿も勇ましい川口あおり太鼓に、観衆から盛んな拍手と喝采が起り、子供たちは、堂々と立派に演じ、大役を果たした。

「川口あおり太鼓」川口小四・五・六年生の皆さん



ハイウェイ・ナウ90で  
子どもたちが熱演!!

# カメラスケッチ

## ゴールデンウィークに拾う

今年のゴールデンウィークは、前半二連休、後半四連休の合わせて七日間の休みとなりました。

この時期は、新緑の季節でもあり、自然に親しみ、野外でスポーツやレクリエーション、レジャーなどを通して、おもしろいリフレッシュされた方も大勢いたのではないで

しょうか。

今年も、町の運動公園に、町内外から若者や家族連れが大勢訪れ、オートキャンプやファミリーゴルフを楽しむ、ファミリールーゴルフなどにテニスやアスレチックなどに汗を流し、ゴールデンウィークの一時を過していました。

そこで、カメラでスケッチして見ました。



「オートキャンプ場」  
連休中は満杯でした。

「キャンプ場のガイドブックを見て初めてきました。良いところでビツクリしました」と柏崎市の矢代さん一家



オートキャンプを楽しむ  
家族連れや若者たち

(県内をはじめ、県外から東京や埼玉、神奈川、福島、群馬、石川、静岡県などからも大勢訪れ、期間中600人近い人たちが利用した。)



▲グリーンも映え、コンディションも上々。



▲魚沼の残雪をバックにナイスショット？

### ゴルフ場に 大人気!!

一日平均  
約百五十人  
の利用者



▲若い人たちも大勢訪れ、プレーに汗を流す。



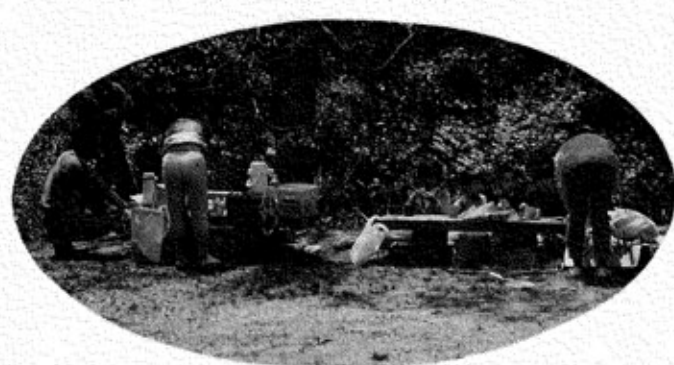
▲「テニスコート」で、さわやかな汗を



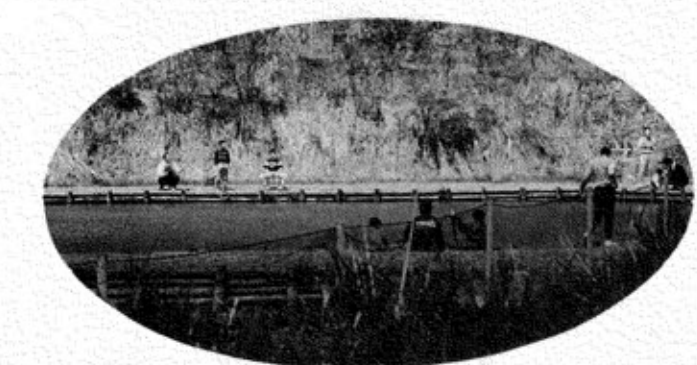
▲「ローラースケートロード」もかろやかに



▲「芝生広場」



▲「キャンプ場」も家族連れで大賑い



▲「つり堀」も盛況



▲「自然観察池」のどかな風景



# 県下では死亡事故が多発

## 五月二十日現在で九十二人

今年に入り、県内の交通事故による死者は、五月二十日現在で、九十二人となりまし。これは、昨年同期と比較して六人増加となり、このままでは最悪の状態となること

が予想されます。このような事態に対処するため、県下一斉に交通死亡事故防止緊急対策が実施されることとなりました。

項目	人数	割合	前年比
<b>&lt;時間&gt;</b>			
●夜間の事故	54人	(全体の59%)	前年比 4人増 (+8%)
●水・木曜の事故	32人	( " 35%)	" 6人増 (+23%)
<b>&lt;場所&gt;</b>			
●国道事故	40人	( " 43%)	" 4人減 (-9%)
●カーブ事故	19人	( " 21%)	" 7人増 (+58%)
<b>&lt;人&gt;</b>			
●高齢者事故	41人	( " 45%)	" 6人増 (+17%)
●若者事故	33人	( " 36%)	" 9人増 (+38%)
●女性ドライバー事故	15人	( " 16%)	" 5人増 (+50%)
<b>&lt;原因&gt;</b>			
●交通七悪事故	55人	( " 60%)	" 12人増 (+28%)
●わきみ事故	16人	( " 17%)	" 5人減 (-24%)
<b>&lt;事故類型&gt;</b>			
●人対車同	29人	( " 32%)	" 2人減 (-7%)
●車両単独	27人	( " 29%)	" 13人増 (+93%)
●車両相互	23人	( " 25%)	" 9人減 (-28%)

### 時間帯では

**夜間、人では高齢者がトップ:**

死亡事故の特徴(表)を見てみると、時間帯では夜間事故が五十四人、原因では交通七悪事故が五十五人となっており、全体の六割を占めています。また、人では高齢者事故が四十一人、次に若者事故が三十三人と続き、合わせて全体の八割となっています。

### 交通ルール・マナーを守って

何故? 死亡事故が多発するのでしようか。その原因は交通ルールやマナーが守られていないことにあります。町では、街頭指導をはじめ交通パトロールを強化するとともに、交通指導所の設置や交通安全教室を開催するなど交通安全意識の高揚に努めます。

### 歩行者もルールを守ること



道路交通法は、車を運転する人だけのものではありません。歩行者にも、交通ルール

### お年寄りの交通安全ルールとマナー

お年寄りの交通死亡事故が依然として多発しています。新しい交通環境に対する適応が遅れがちで、また、元氣



▲「交通安全教室」5月9日上川保育所で

### ドライバー(自動車)の交通安全ルールとマナー

- 自動車は、ドライバーの心掛け次第で、安全で便利な乗り物にもなるし、凶器にもなります。どんな場合にも人命の尊重の精神が根本です。車を運転する時は、安全運転五則をしっかり守りましょう。
- 1 安全速度を守る。
  - 2 カーブの手前で、スピードを落とす。
  - 3 交差点では必ず安全を確認する。
  - 4 一時停止で横断歩行者の安全を守る。
  - 5 飲酒運転は絶対しない。

## 東京からの便り

### 第十一回牛ヶ島会総会

# すばらしき親睦の集まり

去る四月一日、晴天に恵まれ、桜花らん慢のなか、会場は、桜花らん慢のなか、会場は、神戸屋別館に三三五五集



会は、司会より開会の辞、清水会長から来賓の方々に感謝の言葉が述べられ、経過報告では、上越新幹線や関越自動車道により、ふる里も身近となり、交流が盛

んになって、昨年は、故郷の物産を板橋区民祭りで出店し大きな成果を収めた。今年も出店(十月下旬)する予定となっており、皆様方のおい出を心からお待ちすると、また、とかく都市生活の人間性の乾きに、潤おいを与えてゆくため、牛ヶ島会を更に発展させ、幸福な人生を築いてゆこうと話し、収支決算書について、誤りなき旨が伝えられた。

次に、川口町長代理の収入役川上敏夫氏より、青柳町長のメッセージが披露され、「今日よりすばらしい明日を築く」との町政の進展状況に感服し三つの大型プロジェクトによる、町の活性化を図るとのこと。町の繁栄を祈らずにはいられない。

そして、新潟県人会館の事務局長田中義一氏よりは、県人会八十周年記念総会の呼びかけや、県人会活動の現況が話された。

また、牛ヶ島総代の丸山省三氏からは、集会場の設置や川口大橋の早期建設と盆踊りの件について、それから、町会議員の丸山聖浄氏の挨拶と

続き、最後に清水会長より、皆様から誠心こもる多大なお祝を戴いたお礼が述べられ、第二部の宴会に入った。

明るい

楽しい交歓

宴会は、長老の江島俊二さんより歓迎の言葉と乾杯の音頭に、一同唱和し懇談に入る。懐かしい話しは尽きることなく続き、そのうちにカラオケや民謡など、思いおもいの唄声になごみ、くつろぎの楽しい時間が過ぎて三時となる。田舎の人達の帰る時間がきてしま、江島善信氏の牛ヶ島会発展の万才三唱の音頭に合わせ、一同声をはりあげ、拍手の中で帰郷の人たちの見送りをする。

そのあと、宴会は更に盛り上がり、とめどもなく唄い語り合い、遂に四時の定刻となつて、牛ヶ島会の前進と皆様方のご多幸を祈り、丸山春治氏の音頭で三本メの力強い手拍子でしめくられた。

楽しさ一杯つきないお互いは、名残りを惜しみ、再会を約して別れを告げた次第です。



梅雨の間の外出には、「こもり(編織)傘」が手放せません。開くとこもりが翼を広げたように見えるのでついた名前で、携帯用の折り畳み傘だと、さかさまにぶらさがった姿が連想されます。

竹の骨と油紙から成る和傘と違って、西洋伝来の傘は金属製の骨に茶や黒の布を張ったところが、こもり傘に似ていたわけです。明治初年のこもり傘は、文明開化を象徴するものの一つでした。

わが国の庶民は雨や雪を防ぐのに、みのを着たり、笠をかぶったりしました。江戸時代の初期から傘をさすようにもなりました。はじめに流行したのは蛇の目傘です。「蛇の目」は太い輪で蛇の目を表現したもので、日本の紋章のなかでも、単純化の極致ともいえるべきデザインです。ペットになりにくい名で親しまれてきたのは不思議な気がします。

# 新生会(川口中)がクリーン作戦 環境美化に一役

去る五月二十四日、川口中 生徒会(新生会)では、今年も空缶やビン、ゴミなどの清掃にあたり、町内クリーン作戦を展開した。

これは、生徒会活動の一つとして、皆などで協力しあい社会の奉仕活動を通して、勤労と奉仕の精神や、郷土を愛する心を育てようと、毎年実施しているもので、この日、町内のほぼ全域にわたって、クリーン作戦が行われた。なお、この日は天候にも恵まれ、生徒たちは、ビニール袋を片手に、額に汗をにじませながら、道路沿いの空缶やゴミを一生懸命拾い集め、いっぱいになったビニール袋を車に積み込んでいた。



▲集められた「ゴミの山」

また、通りがかりの人たちからご苦労さんとお声をかけられるなど、奉仕活動に精を出していた。なお、同生徒会では、このクリーン作戦による環境美化運動が認められ、昭和六十三年に、県知事から表彰されています。

# 農作業にも 一生懸命取り組み

## 一生懸命取り組み組む

— 田植え — 川口中

五月十一日、川口中で今年も学校田の田植えが行われました。

中学校では、米づくりを通して、労働や農業について学ぼうと、毎年実施しているもので、田打ち、田植えから収穫の稲刈り、ハザかけまで、全校生徒全員が分担し作業にあたります。



▲秋の収穫が楽しみ。

田植えは、三年生男子が打ちした代田に、三年生女子

# チャイムを設置

朝七時、正午、夕方五時  
毎日三回時報を  
お知らせします

このほど、東部の十八番山頂に、時報を知らせるチャイム(写真)が設置されました。チャイムは、毎日朝七時と正午、夕方五時の三回時報をお知らせいたします。音色は有名なウエストミンスターの曲で、約二十秒間流します。町では、このチャイムが地域の皆さんの生活の一つとして、親しまれる鐘となるよう願っています。



# 紙のリサイクル

## 紙ごみを減らし、資源の有効利用を

古紙の回収・利用によって紙のリサイクル(再生利用)を進めていくことは、省資源・省エネルギーの点からたいへん重要なことです。資源もエネルギーも乏しい日本では、従来から紙のリサイクルに努力してきた結果、いまでは紙の原料の約半分は古紙となっています。

ところが最近では、地球環境問題のひとつである森林資源の保護、あるいは大都市などにおけるごみ処理問題が取り上げられています。そのためいままでにも増して、古紙の回収・利用が必要となっています。ここでは、紙によるごみ問題に焦点を当てながら、紙のリサイクルについて考えてみましょう。

四千六百四十七万トン—これは、昭和六十二年間に全国で出た一年間のごみの量です。これを東京ドームに換算すると、百二十五杯分になります。前年度と比べて百七十二万トン、東京ドームで約四・六杯分も増えました。

その後、ごみの量は増え続ける一方ですが、その原因のひとつが、紙だといわれています。

### 増えてきている オフィスの紙ごみ

紙ごみの中でも、最近特に増えてきているのがオフィスから

出るごみです。これは、コンピュータや複写機の導入によって、紙を使うことが多くなったためといわれています。現在、オフィスで使われたコピー用紙などのOA用紙は、ほとんどがリサイクルされずにごみとして処理されています。特に、大都市のごみの量は、ここところ急速に増えてきており、東京都の場合では、二年から三年で埋立地が満杯になるといわれています。このため、ごみの減量や資源の有効利用の観点から、紙のリサイクルに関心が集まっています。

### 企業編

## 三種の分別回収専用箱を

オフィスでぜひ実施していただきたいのが、次のような古紙の分別回収です。各部屋に、上質系(コピー用紙、コンピュター用紙など)、新聞系(新聞、チラシなど)、雑誌系(雑誌、封筒など)の三種の分別回収専用箱を用意してください。なぜ古紙の分別が必要かというと、同種類の紙でないと再生が難しいからです。



やファックス用紙、カーボン用紙は再生紙の原料には使えないので、入れないようにしてください。また、クリップや金具、テープ類も取り除いてください。回収した紙は、ある程度まとまった古紙回収業者に引き取ってもらうようにしましょう。

このようにして回収された紙は、再びコンピュータ用紙やコピー用紙、トイレットペーパー、新聞や雑誌などに生まれ変わります。

## 古紙を回収して自然を守る

いらなくなった新聞や雑誌などの古紙を一トン集めると直径十四センチ高さ八メートルの立木に換算して、いったい何本分に相当すると思いませんか。答えは二十本です。

昭和六十二年間に回収・再生利用された古紙は、一千二百五十一万八千トン。日本で

実際利用する木材は、製材工場などで生じる残材や使い道の少ない低質材を有効利用しています。また、古紙の利用により、パルプ化の工程で重油などのエネルギーが約三分の一も節約でき、省エネルギーにも一役買っています。わたしたち一人一人が、古紙を大切な資源として見直す必要があるようです。



五月八日、「ウド」、「ワラビ」、「ゼンマイ」、そして「アスパラ」や「こしひかり味噌」、清流魚野川の「鮎のこぶ巻」など、春の生吹きと、ふるさとの味をいっぱい、今年度第一回目のふるさと便が、都会に向けて出発しました。



ふるさと便は、年四回直送されており、都会の人たちから喜ばれています。このふるさと便についてのお問い合わせは、町役場内「越後川口ふるさと友の会事務局」まで、  
☎八九一三二一一  
(内線二二三)

ふるさと便

五月便が出発

春の生吹きと

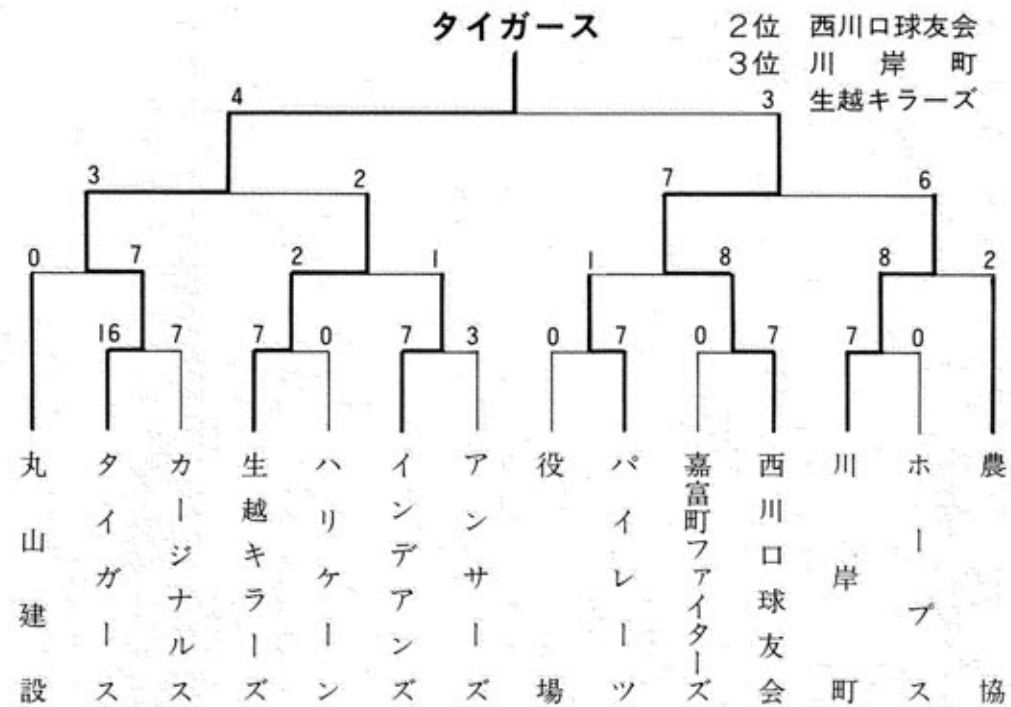
ふるさとの味をいっぱい

### スポーツの町宣言

大会は、五月十三日、二十日の両日曜日に、運動公園野球場においてトーナメント方式で開催され、参加十四チームの中からタイガースが西川口球友会を接戦の末に振り切ってカップを手に入れました。戦績は次のとおりです。



### 公民館長杯野球大会



公民館長杯  
タイガースが優勝  
緒戦を飾る!!

### 新潟県産農林水産物のイメージアップ

## マスコットマーク キャッチフレーズ募集

あたらしい  
NIIGATAの  
ハートを伝えたい

県では、県産農林水産物の普及宣伝活動の一層の推進を目的に、イメージアップのためのマスコットマーク・キャッチフレーズを募集します。

### 大胆な発想から あなたのイメージを……

- 応募資格 中学生以上で未発表の作品に限ります。
- 応募方法
  - マスコットマーク
    - ・ B5上質紙以上の用紙で親しみ易く簡潔
    - ・ 1人3点以内
    - ・ 賞金 入選1点15万円ほか
  - キャッチフレーズ
    - ・ 市販原稿用紙を使用
    - ・ 内容は、マーク同様
    - ・ 1人5点以内
    - ・ 賞金 入選1点5万円ほか

- 応募締切 6月21日(木) 当日消印有効
- 応募先 〒950 新潟市新光町4番1号 ☎025(285)5511 内線2878  
農林水産部農業総務課内 新潟県ふるさと産業振興協議会事務局



### ニュースポーツ グランドゴルフ講習会

日時 6月9日(土)  
午後6時30分～8時まで  
会場 運動公園野球場  
その他 運動ができる服装に、履物はズックとします。

※この講習会には、ふるさと友好都市 狛江市と当町の体育指導員があたります。大人から子供まで家族連れで気軽にご参加下さい。



～多数の参加をお待ちしています～

### 硬式テニス教室 会員募集

期日 6月13日から  
毎週水曜日、金曜日のべ8回  
会場 運動公園テニスコート  
受講料 3,000円(コート代等)  
募集人員 40名～50名程度  
対象 どなたでも  
申込先 6月9日までに硬式テニス  
クラブ渡辺博  
☎89-3615  
又は教育委員会へ  
☎89-3111(内線171)  
主催 川口町公民館  
硬式テニスクラブ



### あなたも参加しましょう

### 第3回 夜間バレーボール大会

参加チーム募集中!!  
期日 7月1日(日)から毎週日曜日・夜7時30分  
会場 川口中学校体育館  
内容 一般男女 混合9人制  
婦人部の 9人制  
申込先 6月23日(土)までに教育委員会内  
町バレーボール協会事務局まで  
☎89-3111(内線171)

